

SDGsの視点から、地域と連携した地域課題探究の成果を発表

セトリー運営指導委員会

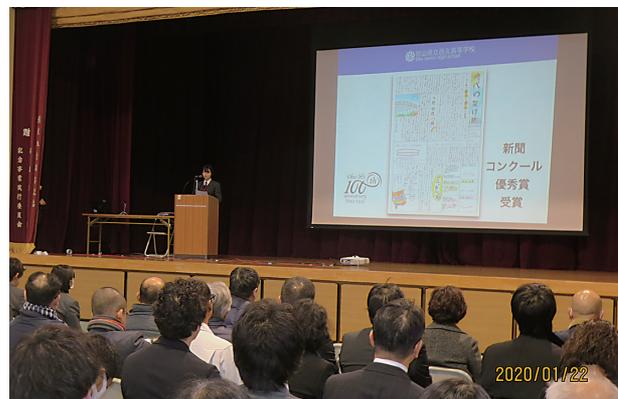
活動の目的

岡山県立邑久高等学校は、市内唯一の高等学校として、地域の要望や期待などを受け止め、地域と連携した幅広い学習活動を展開していくとともに、地域社会に貢献し、将来地域で活躍する人材を育成することを目的とする。

活動の内容及び経過

SDGs講演会（4月24日）、地域おこし協力隊との座談会（5月15日、10月9日）、市長講演会（10月2日）、プレゼンテーション講座（10月30日）等、外部講師による講義をグループ単位のものも含め計22回実施した。さらに、1年次地域企業・施設見学（11月20日、岡山村田製作所・太陽光発電所・ザ・ホテルリマーニ&スパ・市立美術館・木徳神糧・大和紙器・ブックス・一文字・日本オリーブ・邑久保育園・福田保育園）など、実際に地域の企業や施設の見学やインターンシップを進路分野別に行った。また、1年次大学訪問（12月18日、山陽学園大学、岡山理科大学）、2年次大学訪問（8月20日、山陽学園大学）を通して、学問的見地からの理解を深めた。8月の山陽学園大学地域マネジメント学部訪問では、中間発表し指導助言を受けた上で、文化祭で展示発表を行った。さらに地域の方の講義や調査・実験を重ね、1月実践報告会を実施し、68名の外部参観者を含めた観客の前で、6分野11グループがそれぞれポスターやスライドで発表を行った。またグループごとに校外の大会にも応募して発表を行い、一部のグループで受賞した。グループごとの研究テーマと関連するSDGs項目は以下のとおりである。

○文化・観光「今に伝わる瀬戸内の伝統・文化～私たちも知らない地域の魅力発見～」【11 住み続けられるまちづくりを】、○まちづくり「外出時の安全と防災」【11 住み続けられるまちづくりを】、○歴史・教育「後世に伝えよう、邑久高の誇りと瀬戸内市の歴史（ハンセン病と新良田教室）【10 人や国の不平等をなくそう】、○看護・医療「瀬戸内の若者の健康状態は大丈夫？～将来のための予防法～」【3 すべての人に健康と福祉を】、○自然環境 ①班「キノコのかで地域を元気に！」・②班「タナゴ類保全プロジェクト2019」・③班「『おいしい』って何だろう？」・④班「砂防ダムの効果を調べよう」【14 海の豊かさを守ろう・15 陸の豊かさを守ろう】、○科学技術 ①班「メガソーラーと地域振興」・②班「AIの特性とその利用」・③班「地震に強い家の形」〈瀬戸内 kirei 太陽光発電所〉【7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに・9 産業と技術革新の基盤をつくろう】



活動の成果・効果

地域の方との連携が進み、地域への関心が深まるとともに、自己の進路への意識も高まった。地域の方からも邑久高校に関心を持ってもらえるようになり、邑久高校の活動への協力の申し出や様々な活動への募集が増えた。校外での大会への参加も活発に行われ、以下の受賞があった。「第5回岡山の歴史・文化研究フォーラム」県知事賞・オーディエンス賞、山陽学園大学主催「地域マネジメントコンテスト二〇一九」重点部門 銀賞、「集まれ！科学への挑戦者」実行委員会主催 令和元年度「集まれ！科学への挑戦者」研究発表大会 奨励賞

今後の課題と問題点

探究の指導についてのスキルアップ、外部人材の活用、継続的な研究・活動、活動に必要な時間と資金の確保などといった課題があるので、事業を継続する中で改善に努めたい。

- 代表者：萩原康正 ●所在地：瀬戸内市邑久町尾張
- TEL：0869-22-0017 ●E-MAIL：oku@pref.okayama.jp
- URL：http://www.oku.okayama-c.ed.jp/wp/
- 設立年：2016年 ●メンバー数：59名